



平成 30 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 AKIBA ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 馬場 正身
(JASDAQ・コード番号 6840)
問合せ先 取締役管理本部長 五十嵐 英
(TEL. 03-3541-5068)

平成 30 年 3 月期通期業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 2 月 13 日に公表いたしました通期の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

平成 30 年 3 月期 通期連結業績予想値と実績値との差異（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 8,500	百万円 130	百万円 140	百万円 5	円 銭 0.54
実績値 (B)	8,914	108	175	△18	△1.98
増減額 (B - A)	414	△22	35	△23	
増 減 率 (%)	4.9	△16.4	25.6	—	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期)	6,529	63	△13	△284	△31.31

差異の理由

売上高につきましては、通信コンサルティング事業において、全国的な人手不足の影響を受け、下期から着手した大型案件における工事要員の確保が十分にできなかったことにより進捗が遅れた一方、メモリ製品製造販売事業において、主に PC メーカー向けのメモリ販売が引き続き好調に推移したこと、ならびに、HPC 事業において、引き続き受注、納品とも好調に推移したことにより、業績予想を上回る結果となりました。

利益につきましては、営業利益は、利益率の高い通信コンサルティング事業の進捗が遅れたことから業績予想を下回る結果となり、経常利益は、子会社において貸倒引当金戻入額を計上したこと等により、上回る結果となりました。しかしながら、HPC 事業の売上が伸びたことにより、法人税の負担が増大したこと、ならびに、非支配株主に帰属する当期純利益の額が増えたことから、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、業績予想を下回る結果となりました。

以 上